



発行所 西蒲原郡 卷町公民館
編集人 保刈 郡司
印刷所 昭和時報社

学校給食の重要性について

笠原俊式

新教育における基本的な目標として健康教育がとりあげられ心身共に健やかな児童の育成を旨とする事は既に御承知のことと思ふ、学校給食はかゝる近代的な教育の要求を具現せんとする施設に外ならない。

学校給食の目あてとするところは栄養補給による児童の体位向上、健康増進は勿論更に栄養教育、しつけの教育、偏食の矯正から進んでは家庭の食生活の改善にまで発展せしめようとする大きなねらいである。

然し学校給食の完全実施には前途尙ほ幾多の困難が横たわっているが、これを克服し打開していくためには町民父兄各位の御理解と御協力を得る爲め本紙を通じてお願する次第である。

- 一、学校給食の効果
 - 1. 実施校の児童が身長、胸囲、体重に於て、他校より優位を示している。
 - 2. 偏食矯正の効果は大で、平

均六〇%の矯正率をあげている。

- 3. 欠席が減少し、出席率が良くなった。
- 4. 食事作法がよくなり、栄養に関する知識が増加した。

去る五月十五日新潟市で下越の学校給食協議会が開かれ、其の際講師として東北大学の、近藤医学部長が学校給食の重要性と其の効果について十数年間に於ける科学的研究の御発表があったので、其の概要を紹介し、御参考に供する。

近藤博士は昭和九年以降仙台市(旧市域十八ヶ校)の学童について身体検査を綿密に実施し研究をつゞけて來られたが、昭和十六年度に於て、戦争の影響で児童の身長体重が低下し始め逐年低下の一途を辿るので憂慮のあまり昭和十九年度落穂拾をやつて一五〇〇石の米を得た。これは児童一人当、週一合宛で全市の児童に週二回(一回量五勺)野菜雑炊として学校給食を実施した。その結果は体重に於

て低下を防止し得たが、身長は教育には何等の効果もなかつた。

ところが昭和二十年度は食糧管理法が強化されて、この落穂も供出の対象とされ遺憾ながら学校給食を停止しなければならぬ破目となつた。其の結果昭和二十一年度は最低下を來し、戦前と比較して身長五種、体重二、五疋の減を見た。然るに昭和二十二年より現行の学校給食の実施により逐次体位の上昇を示し今後三年(昭和二十七年)に於て戦前と同様の体位に復することが確實な見通しがついた。

尚博士の言によれば昭和十九年度給食実施の際十八ヶ校中特に身長位の優位の学校があつたので、其の原因を調べられたところ、その学校では野菜雑炊を、くる時少しくも栄養のあるものをと考い、肉屋から牛馬の骨を貰つてこれにスープをこしらえて與えたことが判明した。

即ち發育期の児童には動物性蛋白質が身長を伸ばす上に非常に効果的であることが実証されたわけである。この種の実例はまだ沢山あるが紙面の関係上割愛する。

町會だより

- 五月九日 土木委員会
 - 一、釜雪橋の腐朽甚だし危険の狀態であるが、差当つて橋脚一本だけを取りかき、縣立高等学校生徒の通学路として重要であるから修費の補助を申請する様にしたい。
 - 二、東裏(前木氏の宅地に添ふてある道路は図面を調査して整備すること)。
 - 三、消防委員会との合同協議会の結果を報告し、成果を挙げ五月十二日 議会協議会出席十四名
- 一、新制中学校グラウンドの電柱移轉問題について研究を遂げ、理事者と副議長、土田議員と燕町營業所へ交渉して早急に移轉を完了する様に取計らふこととする。
- 二、防火上の見地より割前用水路について、实地視察を行ふこととする。
- 三、国民健康保険料について再討議をなす。
- 五月十二日 産業委員会
 - 一、八区、九区を中心として青物市場を設け、産地の業者へもよびかけて、消費者の便をはかること。
 - 二、夜店は七区、二の丁銀座を應援してお祭から盆まで閉市すること。
 - 五月十五日 警察消防委員会
 - 一、町警察の会計の検査を執行して財政上の見地よりして費用の節約を希望した。
 - 五月十六日 厚生委員会
 - 一、保育所の開所の期日、入所児童の募集方法
 - 二、保育所規則の案について逐條審議なし決定した。
 - 三、規則に基づいて運営委員十五名とし、任期一ヶ年と定め
 - 四、運営委員の定まつた上、入所児童を詮衡すること。

公民館だより

- 第二回「ものを聴く会」
 - 五月十七日夜 公民館に於て、社会教育課に公民館に就く講師、縣社会教育課甲田主事、藤村、横田、大岩、大岩昌子、池上治郎氏、池田孝一郎君、名司、池上治郎氏、藤原、六十余名
- 甲田氏まず社会教育が如何に重要であるかを力説し、社会教育は移り変わる現実の社会と共にあるべきである。公民館は社会教育を行なふ施設として出来たもので、わが新潟縣には大体にこれが設置をみたが、内容の充実は最下の義務である。全国の図書館の状況、更らに公民館で是非取りあげられねばならぬ行事行つて悪い事、社会教育の行われる方法、形態、社会教育委員の性質につき説明あり質問に答つた。横田氏、池田氏、藤村氏、大岩氏、男女同権の現在女子の向上に力を入れていゝる他、村の例につき、池田君、子供向の(ナトコ)遊び場(施設)等々につき質問、其の後一般質問
- 第七回 討論會
 - 一、各党立会演説會
 - 五月二十日夜 公民館に於て、講師 共產党 伊藤正三氏、社会党 品田源一郎氏、労働党 玉井 祐吉氏、国民民主党 稻葉 正源氏、司會 小柳 正源氏 (聴衆約六百余名)
 - 六月行事予定
 - 一日 海紅俳句會
 - 六日 運営審議會
 - 十日 青児相談會
 - 十五日 海紅俳句會
 - 中旬「ものを聴く会」
 - 或は所得税について(新潟日報)
- 下旬 討論會
 - 毎週水曜日 公民館のあり方(未定)
 - 毎週水曜日 日曜日 文庫開館
 - 毎週水曜日 山ピロ會練習日

卷町公民館のありかたについて

(葉書回答より)

町の公民館も御座様でどうやら牛の歩みも遅れておられますが、やれば限らない仕事のうちから限られた人と金では、そう思ふようにも出来兼ねます。今月は「卷町公民館はまず現在どうあるべきか、どの面に一番力を注ぐべきか」

- (1) 教養方面 (講座、図書、座談会等)
(2) レクリエーション方面
(3) 厚生方面
(4) 生活改善
(5) その他

小林 一郎
二、其の他民主主義のよう確立の方向に進むべきで、(1)(2)の区別必要なし。青年の求める自由平和の爲に積極的に動いて欲しい。

- (1) 教養方面
(2) 厚生方面
(3) 生活改善
(4) その他

うしたものにいつも深いつかしみを感ずる。生半かな新がりのものよりは何か真実なものを身近に感じさせる。考えてみると私はこうした懐古的な古い型なのかも知れない。けれど、いたづらに時の流れに軽はくのを動きをつけようよりは古くとも一つの自分の世界をもちつづけたいものである。追憶はつねに清純の世界に遊ばせてくれる。ある時は慰めとなり、ある時は用心深き戒となつて永遠の若さと新しいいぶきをもつて包んでくれる。ともすれば現在の若い人達には明日への悦楽の期待は有つても昨日への反省がかけあつてゐるのでは無いだろうか。ひそやかに水辺に咲きつづけるあやめの薄紫よりも今宵のダンスパーティーが遙かな魅力であり庭に咲きこぼる、白ばらの清そよりもロングスカートの華やかな憧れが多いのではあるまいか。戦後のめまぐるしい轉變は何時かから私達の生活をこうしたカサ／＼に乾からびたものにしてしまつた。どんなに苦しくともどんなに疲れても自然に對する愛着と追懐の夢を失ひたくないものである。



追憶 内藤 龍

取りすましたスダレや硝子戸などにくらべて何か親しみやすく気軽に出入の出来るものはノレンである。夜に入るとストミを下した。古い家のクマリ戸をあけての出入りやほのかな灯明りに浮出された障子のサン、冷たいまでに寂れた青墨の落着き、こ

感想 物を聞く会に出席して

町立中学校三年生 池田 孝一郎

調育主任の依藤先生から、公民館の物を聞く会に出られと言いわれたのは、その五、六日ばかり前でしたらうか、何しろ公民館と言ふ物(何となく失礼であります)は何も知らなかつた爲、少し驚いたわけで、社会教育法と書いた紙を渡されて一読してみたら、とても私等のような者のわかるものではないと、ますますおそれの念を深くしました。と言ふ訳で、当日までむつかしいと半分あきらめかけ、や、無関心で居りましたが、当日は相当緊張して出かけたというわけです。題は社会教育法に公民館についてという事で、私はむつかしいところは大人の方にお任せして、子供としての立場からお聞きしたいと申しました。講師は縣社会教育課主事の甲田先生で、非常に懇切で丁寧に説明されたので会の終り頃にはおぼろげながらもそのリンククを知る事が出来ました。私はむつかしい事は記憶しておりましたが、当日に子供遊び場の無い事、これは子供の健康にも思想にも良くない。良い遊び場の設置を公民館の方々の力で出来ないものか等の私の質問に對

昭和二十五年年度卷中学校 P.T.A. 常任幹事

- 一年 西川宇重郎
二年 横田榮三郎
三年 市川 元吉 内藤作太郎

役場だより

保育所 待ちに待った保育所は町民の絶大なる援助と水倉町長江端助役、工事委員の日夜の別なき努力に依り、今度日出度く矢島養鶏場東どなりに美麗な姿で竣工発足した。さてその総工費は一、二六万五千円で、新潟興業株式会社の請負で、着々工事を進行しつつあります。五月六日竣工式を挙行し、五月二十二日開所式を行つたのであります。

時間

- 四月一日より
十月三十一日迄
午前八時 午後五時
十一月一日より
三月三十一日迄
午前九時 午後四時

婦人会だより

五月三日午後一時巻女十高校家事室に於て、講師三笠屋主人の指導で、「ます」の調理法を数種をお習ひする。

農家だより

六月の予定行事
上旬料理の講習
保育所への協力

大人の世界

私は毎朝八時半頃、西裏を通つたり下町を行つたり東裏を歩いたり下町から上へ行く。或朝の事だつた、小さな菓子屋の店先にカバンをかついだ男の子が五六人集つて居るので、何をしたのかと立止つた時、其の中の背の高いのが二人菓子を受取るが速く口の中へ入れて出て来たがボンヤリ外で待つて居た他の子供達も又カバンと食べ終るまで眺めて居る。其の眼色と態度が丁度私が戦災直後の焼けた長岡駅で浮浪児にたかられたことがあつたが、あの顔をつくりだつた、これは些細な町の風景ではないが、興えられない子供達への悪影響にゾツとした。金を呉れた親達はきつと忙しきにかまけて居た事だらうが学費の五円や十円に文句をつけて

二千冊突破運動

- 寄贈圖書
齋藤順作氏より
著者
上巻 ノーマンメイラー
長野 管一
長野 眞山
青果
現代の基督教と社会問題
竹中 勝男
山室 軍平
現代に於けるイェス
高柳伊三郎
聖書の要約
高柳伊三郎
現代日本と基督教
藤本 虎二
新約文学序説
藤本 虎二
基督教と本質
松本 卓夫
基督教と小史
由木 康
基督教と本質
由木 康
基督教と本質
由木 康
基督教と本質
由木 康

- 保育所 待ちに待った保育所は町民の絶大なる援助と水倉町長江端助役、工事委員の日夜の別なき努力に依り、今度日出度く矢島養鶏場東どなりに美麗な姿で竣工発足した。さてその総工費は一、二六万五千円で、新潟興業株式会社の請負で、着々工事を進行しつつあります。五月六日竣工式を挙行し、五月二十二日開所式を行つたのであります。

五月七日子供週間 巻第九時四十分の汽車で会員二十数名は内野郊外山五十嵐にある教護院の不幸な子供達を慰問に出掛た。院の周囲は八重櫻の大樹にかこまれ満開の時期にはさぞかし美事であらう。数々の花壇、屋内外は塵一つとせぬ清掃ぶり。環境は至極上。日曜日の事として児童等は野球に打興じてゐた。持参の餅、雑菓等を講堂

に整列した七十余名の児童に分配して頂く。子供達はこれに顔で解散、赤十字奉仕團の診療をうけに行つた。院長の院見に就てのお話、座談的に一問一答院内見学、殊に寮等見せて戴き精神薄弱児の多いといふこの寮の寮について先生方の御苦心談、数々の有益のお話に子供達とて家庭教育の如何に大切であるかを痛感した。十二時三十分のバスで寺尾農園にむかふ。色とりどりの毛せんをしいた様なチユリツブに目をみ張り三時三十分三笠宮をお迎えして五時九分巻駅着で解散した。

近頃の学校の子供は金がかかる。とぼやくのを聞くが、こんな所に案外な穴をあけて居るのが大人の世界なのだと思はれた。先日は保育所の開所を記念して婦人会でもお祝してあげようと會員の浄財を集めて廻つたら「オラ家の子供を入れてくれるなら何百円でも寄附するが、それが出来ないうちは一先も出せない」と断つた人があつたが、私怨と社会奉仕の区別が無いのに暗然とした。他人の幸福と権利を尊重してやつてこそ大人の世界のつづけであつて、しつけのある大人が集つてはじめて明るい郷土も住みよい町も期待出来ることをこの町の大人の人達にも考えてもらいたいと思つた。

- 寄贈圖書
齋藤順作氏より
著者
上巻 ノーマンメイラー
長野 管一
長野 眞山
青果
現代の基督教と社会問題
竹中 勝男
山室 軍平
現代に於けるイェス
高柳伊三郎
聖書の要約
高柳伊三郎
現代日本と基督教
藤本 虎二
新約文学序説
藤本 虎二
基督教と本質
松本 卓夫
基督教と小史
由木 康
基督教と本質
由木 康
基督教と本質
由木 康

教育欄

躰は嚴に

卷中 佐藤 從

「近頃の子供はもうも行儀が悪くなつて来た」と人から聞かされるまでもなく、私もいろいろな面でも思ひあたることがかなりある。

戦争前の子供たちはもつと躰がよかつたやうに思う。昔の「子供だつた今の大人があつたやうな戦争の不始末をしてかしたのだから」の千倍の自慢は出来た。義理ではないが今より少しは折目をついた行儀をしつけられていたように思う。

学校の教科から修身が姿を消して、何とはなしに道義観が薄れて来た上に、子供の自由と自主性を伸ばす事が一途に新時代の行き方だと考える余り、社会生活の秩序と規律を無視することがかつたやうな東洋や因襲を打破する積極的な善いことでもあつかうなつた。併しもうこういふ錯覚は清算されねばならない。如何なる世の中でも生活上の秩序と規律を必要としない社会はない。何と言つてもこうした規律の習慣は少年時代にしっかりとつけておかねばならない。民主主義とか、自由主義というものは何でも子供のしたいままに放任することだと思つてゐる人はもうあるまいが、民主主義固ほど子供の規律はやかましいものである筈だ。何も知らない子供

の時に躰を厳しくしておいて、だん／＼成長して判断力がつくに従つて、その自由を順次擴大してやるのが民主国の教育の定石である。

P T A 感想

横田栄三郎

「近いうちに清潔をするので P T A を役場から買つて来なければならぬ」といふ話を聞いた。勿論その人は D D T と間違ひたらしい。P T A は今更申上げるまでもなく、父兄と先生の組合で、学校の発展と生徒を如何に向上させるかを相談する機関なのに総会の通知があつても寄りか悪いのはお互ひに考へさせらるゝ事でありませぬ。僅かの問題でも一部の所謂役員なるものにかましかつておくれき都合ひでなく皆が平等の立場に立つて相談しなければならぬと思はれるのである。組織の上に於て一部役員も必要でせうが、是等役員は決議機関でなく、原案を作るとか便宜上もうけられた公儀然とした存在であるといふ事を役員自身も一

般も認識して載き、各自子供の爲め、学校の爲め総会の通知があつたなら、事情のゆるす限り出席して大いに意のある所をのべたいと考へておられます。そして子供に悪い事でもあつたなら P T A (D D T) の効力を遺憾なく發揮させたいものです。

讀書隨想

敗戦の彼岸にあるもの

横田栄三郎

テンプリン脱出の途上作者の目に映じたものは、ソ連兵の機銃掃射によつて道路上に飛散したくちや／＼な馬の死骸や、頭が半分千切れた大腸のはみ出した哀れな子供の死骸だつた。しかもこの附近は去年の今頃はまだのどかな牧歌がきこえていたのだ。この悲惨な戦争というものに対して、夫と息子を二度の大戦でうばわれたある年とつたドイツ婦人はこう告白している。「私はもう二度の戦争でこり／＼です。もどこの誰がどんな美しい名目で戦争をはじめようとするか、二度と再び戦争の権利を認めないし、戦争の正しさを絶対的に信じません。」と、又あるドイツの青年は、「自分には民主主義であらうと共産主義であるうと、看板なんかどうでもよい。たゞどんな理由があつても絶対に戦争をはじめないという方に反対するのだ。」と叫んでゐる。戦争という人間の最も大きな罪惡を魂の底から憎む彼等、戦争のみじめさを忘れかけている私達は、もう一度強く／＼反省してみる必要があると思ふ。

しかしこの最も深刻な試練の中にあつて、美しく清らかな人間性と永遠なるものに対する思慕とは失はれなかつた。装甲自動車の中でミンヨンの一節を誦ん兵士は、「我々は戦争を破壊だけに終らせてしまつてはならない。」と云つて去つて行つた。みじめな生活だからと云つてあきらめてしまわずに、現在の状態のうちで與えられてゐる自由を最大限に活用して、少しでも多くの生活の喜びを作り出そうと、抑留生活の中でドイツ人は合唱團を組織した。鉄條網をへだて、戦勝国のイギリス兵も美しい旋律に耳をかたむけ、そこには両方の人々のもつ一切の対立と感情を越えた清らかな純粹な人間的なるもののみあつたのである。抑留者の労働を疲れ切つた作者に代つて作業するイギリスの老兵、病に倒れた作者者に対して食糧を得るために奔走するドイツの看護婦の美しい愛情に満ちた行ひ。

そして療養のためスイスへ入国した時、そこには大いなるものの祝福と自然の恵みのもとに戦争を知らないスイスの平和な姿があつたのである。スイス国民一人々々の行ひは、すべて平和に對する努力を表はしていた。どこかの国のように口先ばかりのものとは、わけが違ふようである。

最後に作者は云つてゐる。「ど人底の存在にまで落ち込んだ哀れな敗戦國民の彼岸のまつたく別な世界には、戦勝に浮かれる戦勝といふものを祝うべき出来事だと思ふ。人間の氣持が不思議がられず肯定され、いる内はおそらくこの地上からは永久に戦争はなくならぬであらう。」

寄贈圖書

加藤弘明氏より

- 結婚の生感 石川 達三
- 性慾論 トルストイ
- 高砂族パイワヌ民芸 小林保祥
- 若き日 横山美智子
- ゲーテ時代精神 コッパル
- 算術と数学の歴史 吉岡修一郎
- 風流滑稽譚 パルザツク
- 美について 高村光太郎
- 白石と往來と春堂 中村 孝也
- 鶴外全集第十卷 森 林太郎
- ホメーロス批判 和辻 哲郎
- ゲーテ デイルタイ
- 志賀直哉全集(白樺) 谷川 徹三
- 私思ふ 大森善太郎
- 史的唯物論

編集後記

私たちの「まき」も皆さん方の御協力により第九号をお届け致します。

先号新しく設けた教育欄、如何でしょうか。如何にしたら明るくすこやかに我が子を育てるかと言ふ事は父兄の方々並に其の職に當る先生方の一大関心事だと思ふ。

小学校、中学校に對する父兄の希望、学校より家庭に對するお願ひ等を取りあげて登りたいと思つておられます。